

おいかみ 伝承スポット ⑦ -川の下-
相撲力士 鮎ヶ浜



↑石本巖さんの講座
でのお話を要約



相撲が盛んだった江戸時代に、川の下出身の鮎ヶ浜仁兵衛という力士が浪速相撲で活躍していました。実家は火鉢などを作り、仁兵衛も手伝って力をつけていたのです。

この鮎ヶ浜仁兵衛のもとに、備中出身の力士、玉手山力右衛門が訪れました。聞けば、玉手山の父親も力士で、備中池田藩の御前相撲において旭川岩右衛門と対戦して勝ちましたが、逆恨みをした旭川に殺されました。

仇討ち赦免状を得た玉手山は草津宿で駕籠屋をしていた旭川を探し当て、人情厚く、義侠心の強い鮎ヶ浜に仇討ちの助太刀を求めたのです。

そこで、巡業中の力士を旭川の駕籠に乗せて矢橋港に向かわせ、途中の火鉢屋の前で旭川を呼び止め、名乗りを上げた玉手山が仇討ちを果たしました。

■編集・発行 老上学区まちづくり協議会
■〒525-0055 滋賀県草津市野路町 520 番地
草津市立老上まちづくりセンター内
■TEL & FAX (077) 564-1430
■E メール oikami@machikyou.jp